

新製造技術プログラム

～ ものづくり日本のキーテクノロジー ～

16FY (うち運営費交付金) 15FY (うち運営費交付金)
27.3 億円 (20.2 億円) 49.0 億円 (15.7 億円)

目的	IT等最新の技術を積極的に導入し、プロセス技術の革新を図ることにより、我が国製造業の基盤的競争力を維持・強化するとともに、新たな高付加価値産業を生み出すプロダクトイノベーション活性化の環境を整える。
目標・効果	2006年度までに、現在の製造に要する時間やコスト等を半減することを目標に、プロセスの一層の合理化を図るとともに、新たな高付加価値産業を生み出すプロダクトイノベーションの環境を整える。これにより波及効果として、2010年の市場創出規模は7000億円、雇用創出規模は2.0万人となる。

施策パッケージのポイント

【主要プロジェクト】

・MEMS用設計・解析支援システム開発プロジェクト(新規: '04～'06)

MEMS (Micro Electro Mechanical System) 技術を活用した製品のアイデアを持つ異業種・ベンチャー企業等の多様な主体が MEMS デバイスの開発に取り組むための産業基盤として、技術者に蓄積された加工ノウハウや加工条件と連携する材料特性データを組み込んだ MEMS 設計・解析支援システムを構築する。

16FY【新規】
4.3 億円

・MEMSプロジェクト(既存: '03～'05)

我が国に蓄積された半導体製造技術やマイクロマシン技術を活用し、情報通信、医療・バイオ、産業機械など多様な分野におけるキーデバイスとして期待が高まっている MEMS のうち、今後比較的短期に大きな市場が形成されると期待される MEMS (RF-MEMS、光 MEMS、センサ MEMS) の実用化に必要な製造技術を開発する。さらに、これらの MEMS 製品の実用化等を通じ、多様な産業・民生分野におけるエネルギー使用の合理化を図る。

16FY (15FY)
11.6 億円 (19.2 億円)

・IMS国際共同研究プロジェクト(既存: '95～'04)

先進国の製造業が共通して抱える環境問題や製造現場の省エネルギー推進などの課題について、国際的な共同研究により効率的な解決を目指す IMS (Intelligent Manufacturing System) プログラムの枠組みの中で、設計・製造工程の効率化など次世代高度生産システムを目指した研究開発を行う。

16FY (15FY)
5.6 億円 (8.8 億円)

政策上の活用等のポイント

(研究開発成果の活用)

- ・研究開発成果啓蒙普及事業
公益法人等を活用した成果の積極的な啓蒙普及に取り組む。
- ・標準化戦略
各プロジェクトで得られた成果のうち、標準化すべきものについては、適切な標準化活動を実施する。

(政策実現に向けた環境整備他)

- ・MEMS製造拠点の検討
MEMS技術の多様な分野での展開を推進するため、大規模な製造設備が必要なMEMS製造拠点(ファウンダリー)の整備を検討していく。